PAT-NO:

JP02001017126A

DOCUMENT-IDENTIFIER:

JP 2001017126 A

TITLE:

MEMBRANE-BREAKING DEVICE

PUBN-DATE:

January 23, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

UMEHARA, TOSHIYASU

N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

UMEHARA TOSHIYASU

N/A

APPL-NO:

JP11225636

APPL-DATE:

July 5, 1999

INT-CL (IPC): A23L001/32

# ABSTRACT:

egg.

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide the subject device intended for efficiently making eggs each with the yolk membrane broken and the yolk and albumen mixed together in a desirable state.

SOLUTION: This device which is intended for breaking the membranes of yolks such as of hen eggs is such one as to have a rotating unit for an egg light source, and a sensor 16 for monitoring the inside of such an

COPYRIGHT: (C) 2001, JPO

# (19) 日本國特許庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号 特開2001-17126

(P2001-17126A)

(43)公開日 平成13年1月23日(2001.1.23)

(51) Int.Cl.7

識別記号

FΙ

テーマコート\*(参考)

A 2 3 L 1/32

A 2 3 L 1/32

Z 4B042

# 審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 3 頁)

(21)出願番号

(22)出願日

特願平11-225636

平成11年7月5日(1999.7.5)

(71)出蹟人 598098102

梅原 敏靖

長野県伊那市大字伊那部5466-7

(72)発明者 梅原 敏靖

長野県伊那市大宇伊那部5466-7

Fターム(参考) 48042 AC09 AD29 AE10 AC07 AH09

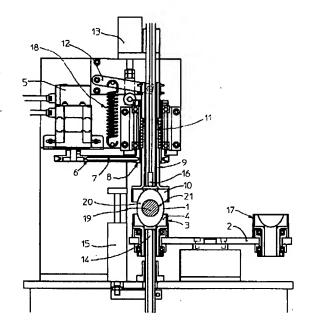
AP14 AP30 AT05

# (54) 【発明の名称】 破膜装置

#### (57)【要約】

【目的】 卵黄膜が破れた卵を効率的に製造する。

【構成】 卵1の回転装置と光源と卵の中を監視するセ ンサー16を備える。



1

#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】卵の回転装置と卵の中を監視するセンサー を備えたことを特徴とする鶏卵等の卵黄膜を破壊する装 置。

# 【発明の詳細な説明】

### [0001]

1

【産業上の利用分野】本考案は特願平10-19795 7で申請した卵黄が卵の中央に集中していないゆで卵の 製造装置に関するものである。

#### [0002]

【従来の技術】従来は機械を使用して卵に適当な回数加 速度を作用させたあと卵を暗室に持ち込み、検卵器で卵 の中を観察していた。

# [0003]

【発明が解決しようとする課題】この方法は何回も機械 と暗室の間を往復しなければならないため時間がかかっ たり、加速度を与えすぎ卵黄と卵白が過度に混合して失 敗したりするため非常に効率が悪かった。本考案はこれ を解決し卵黄と卵白が望ましい状態に混合している卵を 効率的に製造することを課題とする。

# [0004]

【課題を解決するための手段】本考案は上記の課題を解 決するために、卵の中を常時監視しながら卵に加速度を 与え、卵黄と卵白が望ましい状態に混合された状態にな った時機械を停止させる方法を採用した。

### 【実施例】

【0005】実施した膜破壊装置の概略を図1に示す。 図1は回転前の装置の状態を示している。 卵1はインデ ックステーブル2に対し回転自在に取り付けられたホル ダーB3に緩衝材A4を介して乗せられている。緩衝材 30 はシリコン樹脂等の柔らかな材料で作られている。回転 装置はモーター5、プーリー6、ベルト7、アウタース ピンドル8、インナースピンドル9及び緩衝材B10か ら構成され、モーター5によりインナースピンドル9を 回転できるようになっている。 インナースピンドル9は アウタースピンドル8にボールスライドキー11を介し て取り付けられており、レバー12を介しシリンダーA 13によってアウタースピンドル8に対し上下方向に移 動できるようになっている。光ファイバー14はシリン ダーB15によって上下方向に移動できる。インナース 40 ピンドル9には貫通穴が設けられ光学センサー16が固 定されている。

【0006】装置はシーケンス制御により以下に述べる 動作を自動的に行う。 卵1はホルダーA17に供給され る。装置を起動させると卵1はインデックステーブル2 により回転装置の下に移動する。モーター5が起動し、 インナースピンドル9が回転を始めると共にシリンダー B15が後退し光ファイバー14が上昇する。光ファイ バー14には図示してないキセノンランプを光源とする 光が導かれている。次にシリンダーA13が前進するこ 50 ナースピンドル

とによりインナースピンドル9がスプリング18の力で 下降し卵1を緩衝材A4と緩衝材B10ではさみつけ卵 1を回転させる。図2はこの時の状態を示している。光 学センサー16は光ファイバー14の光を検出する。黄 身19は光をほとんど通過させない。しかし図2の状態 では光ファイバー14の光は白身20の屈折作用や散乱 作用によりあまり減衰せず光学センサー16に達するの で光学センサー16の出力はオンである。卵黄膜21が 破れると黄身19は白身20より比重が小さいので図3 10 のようになり、光ファイバー14の光を遮断するため光 学センサー16は出力がオフになる。この信号で機械を 停止させると卵黄膜21が破れた直後の卵が得られる。 光学センサー16のオフ信号のあと一定の時間が経過し てから機械を停止させると、黄身19と白身20が望ま しい状態に混合された卵が得られる。次にモーター5を 停止させると共にシリンダーA13、シリンダーB15 が復帰し、装置は図1の状態に戻る。最後にインデック ステーブル2が動き、加工が終わった卵を供給位置にも

2

【0007】他の実施形態としては次のようなものがあ る。図4に示す実施形態は光ファイバー14を卵1の横 に配置したものである。図5は光ファイバー50と光学 センサー16を同軸にしたものである。図6は光源と光 学センサーが一体化された反射式光学センサー60を使 用した例である。なお卵の姿勢は図1に示すような縦に 限定しない。横に置いても良い結果が得られる。

どし、機械が停止する。なお回転装置は図示してないカ

20 バーで遮光し、光学センサー16が外乱光で誤動作しな

### [0008]

いようにした。

【発明の効果】本考案は以下に記載する効果を発揮す

【0009】自動的に卵黄膜が破れたのを検出すること により、卵黄と卵白が望ましい状態にある卵を効率的に 製造できる。そのため特願平10-197957で申請 した卵黄が卵の中央に集中していないゆで卵の製造コス トを低減でき市場性を増大できる。

# 【図面の簡単な説明】

- 【図1】回転前の装置の状態を示す。
- 【図2】回転中の装置の状態を示す。
- 【図3】卵黄膜21が破れた時の黄身の状態を示す。
- 【図4】他の実施形態を示す。
- 【図5】他の実施形態を示す。
- 【図6】他の実施形態を示す。

### 【符号の説明】

1 卵 2 インデックステーブル 3 ホル ダーB

4 緩衝材A 5 モーター 6 プー リー

7 ベルト 8 アウタースピンドル 9 イン

5/10/07, EAST Version: 2.1.0.14

3

10 緩衝材B 11 ボールスライドキー 12 19 黄身 20 白身 21 レバー 卵黄膜

15 50 他の実施例の光ファイバー

13 シリンダーA 14 光ファイバー シリンダーB

51 他の実施例の光学センサー 16 光学センサー 17 ホルダーA 18 60 反射式光学センサー スプリング

【図1】

